校長室だより 第15号

校長　瀧　俊彰

３月２２日修了式
令和５年度が終了します。

コロナ感染症が５月に５類に移行され、いろいろな制約もほとんどなくなり『日常』が戻ってきました。そのため、令和５年度は学校生活や学校行事も計画通りに実施され、たくさんの思い出が残ったことでしょう。

一年を振り返ると生活面は細かな課題はありますが、全体的に落ち着いた状況にあります。また、学習面では協同学習の形態が定着してきています。また、タブレット機を活用し授業方法も変化した部分もあります。ただ、個人個人の取り組みに差がついてきているという課題はありますが一定の成果はあがっています。そして行事については３年生が下級生を引っ張り、全校生徒が協力し合い大きな成果を残してくれました。

この三学期は今の学年のまとめの時期であり次の学年の準備の時期でもありました。１・２年生とも課題がいくつかありますが、やるべきことは十分にできていると思います。４月になれば全員進級します。現２年生は『最上級生』に、現１年生は『中堅学年』となります。

４月からの新学期の目標をあげます。新３年生は『最上級生』として、学校の『中心』として活躍すること、新２年生は入学してくる新入生の見本となること。そして全校生徒全員で力をあわせ、さらにグレードアップした光陽中学校にしていきましょう。やがて始まる新学年を素晴らしい一年にしていこうという気持ちを強める今日の修了式としてください。

最後に私事になりますが、令和６年３月３１日をもちまして４３年間の教員生活を終えることになりました。平成３１年３月に定年退職し、その後再任用校長として勤務してきましたが５年の年限がきました。最後の２年間光陽中学校で勤務できたことを大変うれしく誇りに思っています。学校運営にご理解・ご協力いただいたことに厚くお礼申し上げます。

今年度もあとわずかとなりました。あわただしい年度末ですが、年度の変わり目は今年度を省みて、新しい年度への希望を持つ節目の時期であると思います。保護者や地域の皆様のご支援、ご協力に心から感謝申し上げますとともに、令和６年度も素晴らしい年となるようお祈りいたします。

令和　６年　３　月　　２２　日　　岸和田市立光陽中学校